

【取組を進めたい事項】

- 業種別ガイドラインから観光関係分をとりまとめ・セルフチェック表の作成
- 各事業者が取り組んでいる感染防止策を施設内掲示する共通フォーマットやステッカーなどを作成 → 観光関係事業者の一体的な取組，県内の機運醸成

【イメージ】



【その後の展開例】

- おもてなしの視点を取り入れた，新しい生活様式対応のオリジナルガイドラインを作成する
- 宿泊施設，観光施設，駅や空港等が一体となって“Clean”な旅を提供する
- 各施設の取組のうち，優良事例を紹介・横展開する
- 県内外に向けて安心感を届ける

参考1. 基本的認識

- ✓ withコロナ時代の観光価値「安全で安心な旅」
- ✓ これから観光地として選ばれるために，安全安心の可視化は何よりも不可欠

安全安心 × わくわく の旅を

- ✓ 安全安心な受入環境を整備し，面的に可視化
- ✓ 安全安心をいち早く配信し，安心ブランドを構築

参考2. 強み

- ① 宿泊者数の **3割超は県内客**，**東北を含めると5割超** = 県民で一定の需要回復が可能
- ② 100万人規模の都市がある人口200万人以上の都道府県での感染率は全国最少
- ③ 自粛疲れや新しい生活様式に訴求する資源が揃っている
Relaxation × **O**utdoor × **N**ature